

うだちから からだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」やNPO団体などを紹介します。

問 地域振興課 ☎82・3910/IP ☎88・9094

1 伊那佐の名物に！ 紅白のしだれ梅を植樹

伊那佐地区まち協

昨年度、旧伊那佐文化センター横に伊那佐山の登山者用に駐車場の整備を実施しました。

今回この駐車場脇の道路側緑地帯のみじの木が枯れたため、市役所に相談して当まち協で植樹することにしました。そして、2月6日に駐車場の利用者や地元の方たちにも楽しんでもらえるように「しだれ梅2本(紅白)とゴールドクレスト1本」の計3本を新型コロナウ



▲皆で協力して植樹しました！

イルスの感染終息の願いも込めて植樹しました。紅白のしだれ梅は2m以上の高さがありとても立派なものです。垂れ下がった枝には、既に小さなつぼみが沢山ついでいて、早くつぼみを開きたいと言っているようです。

2 田口地区案内冊子」を作成

田口地区まち協



▲毎年、花が咲くのを楽しみにしててください

田口地区は室生地域の最南部に位置し、室生火山帯の急峻な山々がそびえる山間地域です。伊勢本街道が地区内を東西に横断していて、その街道から地区の北にある室生寺へ向かう人が通過する場所、古くから人々の往来が盛んな地域でもありました。近年は過疎化、高齢化が進んでいます。地区の西には標高878.8mの三郎岳があり、登山道を使えば頂上を通り榛原方面へ下ることもできます。

また、頂上付近の断崖には、大正時代に彫られた5体の石仏群があります。

冊子を作成しました。

この冊子は、タブロイド判カラー両面印刷で、小さく六つ折りにたたくことで胸ポケットに入る大きさとしてあります。田口地区には多くの見所があります。伊勢本街道の道標や石割峠、三郎岳付近の石仏群や姫隠出石、どんがめ石や寺社などの写真も掲載しています。冊子を市役所や室生地域事務所などに配置して、多くの方に手に取ってもらえるようにしたいと考えています。また地域の方々に、住んでいる地域が持つ魅力について改めて知ってもらえると思います。



▲完成した「田口地区案内冊子」

3 芳野城を中核にした地域 活性化事業(芳野城夢プラン)

芳野城を守る会

芳野地域は、限界集落と言われており、高齢化が著しく進んでいます。そこで、地域課題解決に向け2019年に芳野城を守る会を設立しました。

芳野地域を活性化させるため、地域の貴重な史跡である芳野城跡を整備し、観光資源とする活動を計画。一年目には地域住民の関心を高めるための学習会やツアーを開催しました。また、今年、芳野城跡への道の整備や案内板等を設置したことにより、芳野城跡に登る方が増え、幅広い層の方が関心を持つようになり



▲案内板設置作業

した。これからも、皆さんが安全に登れる城跡にするために整備を続け、城跡を守り後世に伝承していく活動を続けていきます。

4 薬膳カレー店 「透咖喱」をオープン！

宇陀市仕事づくり推進隊

仕事づくり推進隊の入江透です。宇陀高校(大宇陀学舎)の正門前にて薬膳カレー店「透咖喱」を5月末開店予定。お客様一人ひとりの体調・体質に合わせてスパイスをブレンドし、カレーを提供します。内容は、コース料理。前菜スープ・カレー・グルテンフリーのデザートとハーブティー。全てのお客様に良いサービスができるように完全予約制でご提供します。お料理は、もちろん全て無添加。コロナ禍を乗り越えるため、食事で自己免疫力を高めますか？



▲お客様の体調に合わせたスパイスが特徴



▲ぜひお越しくださいね！



薬草

透

ウワバミソウ

山地の水気が多い場所に群生している柔らかな多年生草本です。このような湿気のある場所には、蛇もいるであろうということで、蛇の草の意味としてウワバミソウの名が付けられました。葉は濃い緑で、茎は緑のものがありますが、多くは赤みを帯びた茶褐色なので分かりやすいでしょう。

水気が多いところに生える植物はいろいろなミネラルを含んでいるので、体に必要な栄養成分を吸収することができます。その結果、水の代謝が活発になり、下痢を止め浮腫を治し、腎機能を高めてくれます。それによって肝臓も回

復し、黄疸にも好結果を与えてくれます。年中食べられますが、おいしいのは春から夏の間です。茎、根茎、ムカゴが食べられますが、葉は味や香りに強い癖があるので、採集時に落としてしまい、茎だけを帰るのがよいでしょう。

柔らかく太く伸びた茎を採って、ひとつまみの塩を入れた熱湯でゆで、色が鮮やかな緑色に変わったらさっと引き上げて冷水で冷まします。シヨウガじょうゆに浸したり、だし汁に漬けたり、三杯酢、酢みそ、ごまあえ天ぷらにしてもおいしく食べられます。



▲根茎の部分は、おいしい山かけになります ※当市で「薬草活用講演会」をしていた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

問 商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075